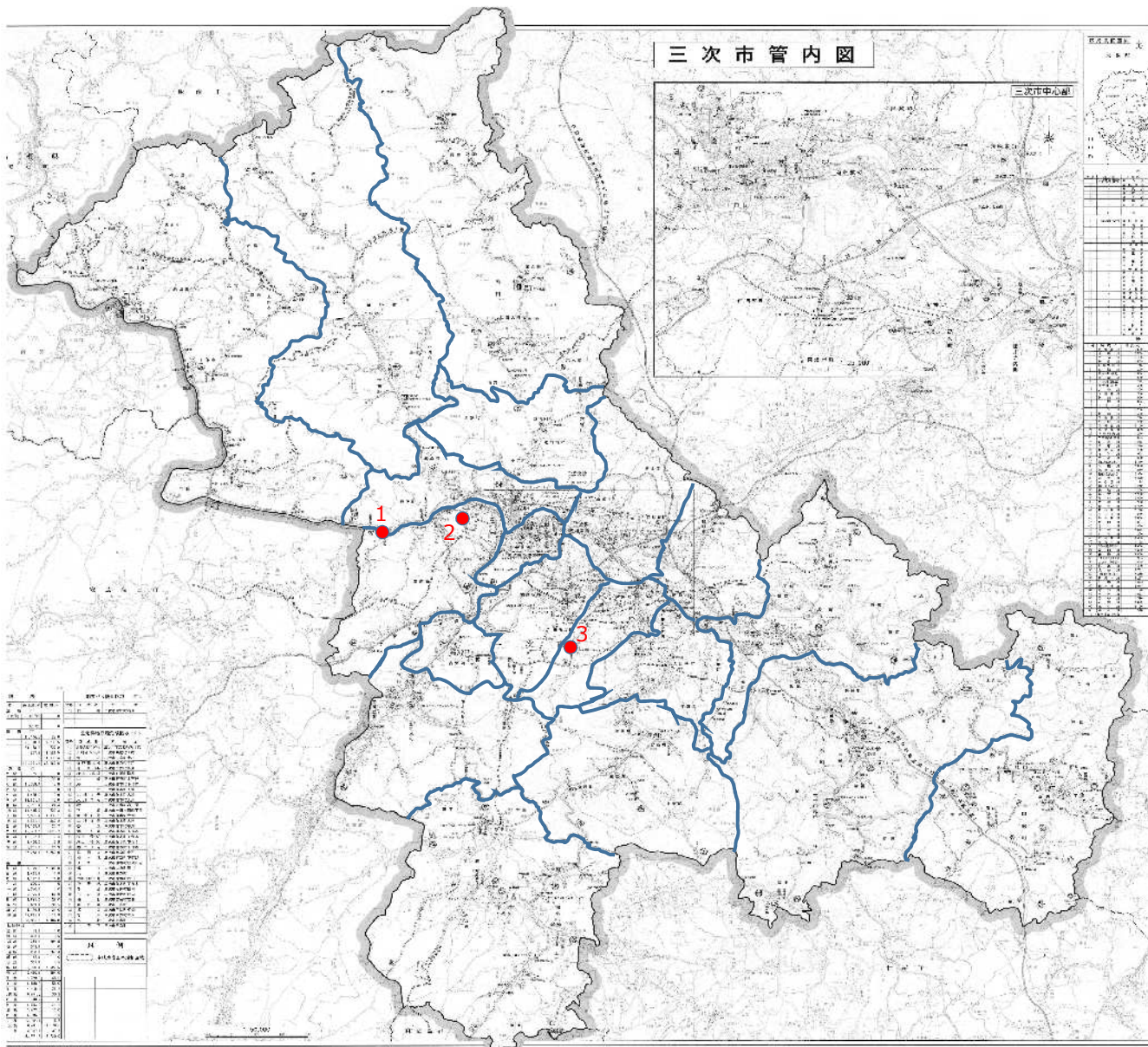


三次市公共施設・個別施設計画書

[供給処理施設]



No.	施設名称
1	三次市汚泥再生処理センター(錦水園)
2	一般廃棄物下荒瀬最終処分場
3	三次環境クリーンセンター ※「三次環境クリーンセンター長寿命化計画」策定済み。

■ 施設情報（数字は令和元年度実績）

No.	施設名	役割	避難所	災害想定区域	運営	収入 (千円)	支出 (千円)	来庁者数 (人)
1	三次市汚泥再生処理センター・錦水園	市	—	洪水 黄	直営	0	217,010	—
2	一般廃棄物下荒瀬最終処分場	市	—	黄	委託	0	20,062	1,323
3	三次環境クリーンセンター	長寿命化計画あり						58,512

■ 現状・課題

1 三次市汚泥再生処理センター・錦水園

- 機能 ・し尿及び浄化槽汚泥を適正に処理し、処理後の汚泥は循環型社会を目的として、資源化し肥料として市民の方に無料配布。
- 重要性等 ・浸水想定区域内。土砂災害警戒区域内。市全域のし尿及び浄化槽汚泥を処理し、快適な生活環境を保持することを目的として設置。
- 点検結果 ・築 10 年近くを経過。平成 30 年度に廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第 5 条の規定に基づき精密機能調査を実施。施設は概ね良好。
・引き続き定期的に機器等の整備等を実施する必要がある。
・稼働率は処理能力に対して 77%。

2 一般廃棄物下荒瀬最終処分場

- 機能 ・最終処分場付帯施設（浸出水処理施設）において、場内の浸出水（汚水）を浄化処理する。
- 重要性等 ・土砂災害警戒区域内。周辺環境保全上、欠かすことのできない施設
- 点検結果 ・築 27 年を経過し、地盤沈下による土間に多少劣化がみられるものの他の躯体等に劣化はない。なお、施設本体の埋立地の容量を精査した結果、残余年数が 7 年程度であり、早急に次期処分場の事業に着手する必要がある。
・利用率は高い。

【管理に関する基本方針】

- 市民生活に密接に関わる必要な機能であり、今後も将来の需要を見据えながら、機能の確保を図ります。
- 特殊な設備を有し、他の公共施設と比較しても多額のコストを要するため、適切な時期に適切なメンテナンスを行い、維持管理コストの平準化を図ります。

●供給処理施設【3施設】

(凡例: ▲耐用年数超過5年前 ■耐用年数超過)

No.	施設名称	担当部署	代表建築年月日	経過年数	耐用年数	延床面積(m ²)	構造	地域	取組内容	方針	計画実績	H29	H30	H31 R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
1	三次市汚泥再生処理センター	下水道課	平成23年3月31日	9	38	2,813.44	RC	三次	計画的な修繕により、長寿命化を図ります。	現状維持	計画 実績	⇒ ⇒	⇒ ⇒	⇒ ⇒	⇒ ⇒	⇒ ⇒	⇒ ⇒	⇒ ⇒	⇒ ⇒	⇒ ⇒	
2	一般廃棄物下荒瀬最終処分場	環境政策課	平成5年3月1日	28	38	632.94	SRC	粟屋	計画的な修繕により、長寿命化を図ります。	現状維持	計画 実績	⇒ ⇒	⇒ ⇒	⇒ ⇒	⇒ ⇒	⇒ ⇒	⇒ ▲	⇒ ⇒	⇒ ⇒	⇒ ⇒	▲ ■
3	三次環境クリーンセンター	環境政策課	平成8年7月1日	24	31	6,800.19	RC	神杉	三次環境クリーンセンター長寿命化計画に記載あり												